

町会ニュース

第18号

平成24年11月1日

(発行)

箕土路町会

伝統と文化を守った

団体の連携と団結と心意気!

町会最大行事 だんじり祭り

朝夕、めっきり冷え込む日々。秋の深まりを実感する季節を迎えました。

町会の皆様方におかれましては、お変わりございませんか。

先日の祭礼においては、いろいろとご理解とご支援ご協力のおかげで、大きな事故もなく無事終える事が出来ました。

改めてここに感謝申し上げます。

初日の夜間町内曳行は思いがけず、雨天で中止を余儀なくされ、楽しみにしていた小さな子ども達には可哀そうに思いました。が体調を壊すと元も子もないとの配慮で話し合った結果中止としました。

それ以外は、比較的天候に恵まれ、気

温も例年よりも曳行しやすい二日間、祭礼日和でよかったです。と思います。

また、救護所ではみどり病院の先生と看護師の方々が待機して、けが等の治療や処置にあたって頂いています。

今年、6日は8名、7日は7名が治療や処置のお世話になりました。

紙面を借りてみどり病院の方々にお願い申し上げます。



飲み物の接待をする老人会の方々



救護所でお世話になったみどり病院の先生方

街角散歩

休憩所で出会った 心温まる出来事

★祭礼の2日目、救護所でのさわやかな一景を目撃して感動した親和会のお二人からの便りが届きました。

内容は、小学4・5年生位の仲良し

3人組の女の子が休憩所にやって来た。その中の一人が、紙コップに注がれたスポーツドリンクを手に取り、「いただきます」と軽くお辞儀をしてから美味しそうに飲み干しました。

そして、「有難うございました」と再度一礼をして3人そろって立ち去りました。

一瞬の出来事でした。しかし、その女の子の礼儀正しく、すがすがしい涼風を酔心に届けてもらった様な温かい気持ちになる光景でした。

「背負っていた子どもに再び教えられ」の様な心境で、親和会会員二人そろって見とれてしまった次第です。

なお、この一計の舞台となった休憩所を担当して頂いた老人会の方々に遅まきながら感謝申し上げます。

★冷え冷えする昨

今、こんな光景は心温まります。ちなみにその子は箕土路町の法被を着ていたそうです。



11・12月の主な予定

11月

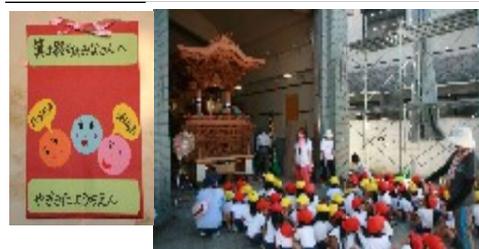
- 4日(日) 埋立ゴミ・廃食用油、刃物の回収
- 11日(日) 第8回評議員会

12月

- 9日(日) 第9回評議員会
- 16日(日) 会館大掃除
- 27日(木)～30日(日) 夜警(青年団)

9月25日(火) 50名余りの幼稚園児が箕土路町だんじり小屋で、地車保存会の役員の手導と補助を受けて、鳴り物体験をしました。

園児は眼を輝かせて喜び一杯楽しいひと時となった事でしょう。



眼を輝かせてだんじりの話に聞き入る園児

ハホ北幼稚園児が鳴り物体験